

お取引先さま各位

## カカオ・チョコレート週刊ニュース 143号

2015/9/14 発行  
株式会社 立花商店  
坂元 麻美

### 1、市況の動き：

- ① 最高 12月 LDN 市場£ 2,204 /12月 NY 市場\$ 3,276 (9/9,9/10) 先週比 LDN **+48** / NY **+111**  
② 最低：12月 LDN 市場£ 2,171 /12月 NY 市場\$ 3,224 (9/8) 先週比 LDN **+70**/ NY **+122**  
週内価格差額 (①-②)：LDN 市場£ 33 (傾向↑) / NY 市場\$ 52 (傾向↑)



LD	9月7日(月)	9月8日(火)	9月9日(水)	9月10日(木)	9月11日(金)
15-Dec	<u>2171</u>	<u>2171</u>	<b>2204</b>	2197	2187

NY	9月7日(月)	9月8日(火)	9月9日(水)	9月10日(木)	9月11日(金)
15-Dec	休場	<u>3224</u>	3258	<b>3276</b>	3257

### ポイント

(9月8日)

休場明けのニューヨーク市場は続伸。12月きりの清算値は52ドル(1.6%)高の3220ドル。一時、7月31日以来約6週間ぶり高値となる3230ドルまで上昇した。

ロンドン市場は横ばい。12月きりの清算値は変わらずの2171ポンドだった。

## **2、ナイジェリア：曇りが続き、カカオ豆のカビ率が上昇(9/11)**

トレーダーによると、カカオ主生産地であるナイジェリアの南西部では曇りが続き、収穫したカカオ豆を十分に乾燥させることができず、通常よりもカカオ豆のカビ率が高くなっているという。

カカオ豆の集荷業者もまたブルームバーグに対して「日光の照射時間が足りず、カカオ豆を適切な条件で乾燥させることができない。」と述べている。この地域から集められたカカオ豆のカビ率は約 20%となり、こうしたカカオ豆は輸出業者から買い取りを拒否される。

国際カカオ協会によると輸出用カカオ豆として認められるのは、カビ率 5%以下のカカオ豆とされる。

ナイジェリアで生産されるカカオ豆の約 70%を占める地域でも、収穫されたカカオ豆のカビ率が 12%を超えている。ナイジェリアはアイボリー、ガーナ、インドネシアに次ぐ世界有数のカカオ生産国であり、2013/14 期では 35 万トンのカカオ豆を生産した。

カビ率の高いカカオ豆は、10 月から始まったメインクロップの早い時期に収穫されたものに見受けられる。およそ 1000 トンものカカオ豆が輸出業者によってはじかれた。農家はせつかくカカオポッドが木になり熟しても、日光が出るまで収穫しないように止められている状況だ。

## **3、インドネシア：2015 年のカカオ生産量は横ばいか、5%上昇(9/11)**

インドネシアの今年度のカカオ生産量は横ばいか、もしくは 5%程度上昇すると予測される。

政府による生産量上昇の施策により、エルニーニョ現象で生産量が低下した分も何とか取り戻すことができた。インドネシアの今年の生産量予測は昨年から変わらず 40 万トンとみられており、続く 2016 年には 5~10%ほど上昇するという。トレーダーによると「2009 年以来、政府はカカオ農園を拡大する政策を行ってきた。」と述べた。もともとインドネシアのカカオは 1980 年代に植えられた為、農園のカカオ樹木の老化が問題となり生産量が減少していた。

そこで 2009 年に 3 億 5000 万ドルを投じ 5 年間で 60 万トンを超える生産量を達成する目標が掲げられた。2008/2009 期にはインドネシアのカカオ生産量は 49 万トンに達した。今年 2014/15 期の収穫量は、その時の記録と比較すると依然少ないが、関係者によるとバリ島、スマトラ島、スラウェシ島でのプロジェクトは大方成果を上げているという。さらに昨年の終わりには、政府により 1 億ドルが投資され、カカオの苗木が提供された。ただ一つの懸念としてはエルニーニョ現象による乾燥気候だ。

インドネシアの摩砕業者は「直近では年間 50 万トンのカカオ豆が必要になるだろう。国内の生産分で足りない 10 万トンはガーナやアイボリーから輸入する必要があるだろう。」と述べている。インドネシアは国外へのカカオ豆流出を防ぐために 10%の輸出税を定めている。

《お問い合わせ先、配信希望または、停止のご連絡先》

株式会社 立花商店 東京支店 生田

TEL03-5785-3545    w-ikuta@tachibana-grp.co.jp